

(様式)

普及項目	養殖
漁業種類等	養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	八代海

ノリ養殖指導

県南広域本部水産課・島田 小愛

【背景・目的】

近年、八代海のノリ養殖は、秋芽生産期の高水温化、色落ちの早期発生、あかぐされ病の拡大等により、生産枚数及び生産金額は減少し続け、平成20年度には38あった経営体数が、平成30年度には2経営体となっている。

そこで、県南広域本部水産課と熊本県漁業協同組合連合会では、八代海でのノリの安定生産を図ることを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1) ノリ生産者との勉強会

①実施月・場所：令和元年(2019年)10月・三角町漁協

②内容：平成30年度漁期の振り返り、令和元年度漁期に向けての病害・色落ち対策について

(2) 採苗指導

①実施月・場所：令和元年年(2019年)10月(計4回)、三角町漁協郡浦支所

②内容：経営体ごとの採苗直後の芽数の計数、芽いたみ等の検鏡と養殖指導

(3) 養殖状況調査

①実施月・場所：令和元年年(2019年)11月～翌2月(計15回)、八代海湾奥(図1)

②内容：漁場ごとの環境調査(水温、比重、プランクトン沈殿量)、経営体ごとノリ葉体の葉長、病害、黒み度等の調査、情報提供及び養殖指導
なお、調査のとりまとめを図2に示す。

【成果・活用】

10月下旬の採苗では、芽付きのバラツキは見られたが、おおむね良好な芽付きであった。しかし、その後の育苗期から葉体に傷みが見られ、切れ流れが生じ、なかなか葉体の伸びが見られなかった。12月には、葉体の傷みがなくなり、下旬には色の良いノリが収穫された。

その後も、豊富な栄養塩により順調な収穫が続き、本年度の八代海での生産枚数は147万枚(昨年度比109.6%)、生産金額は1,973万円(昨年度比113.3%)となった。

(様式)

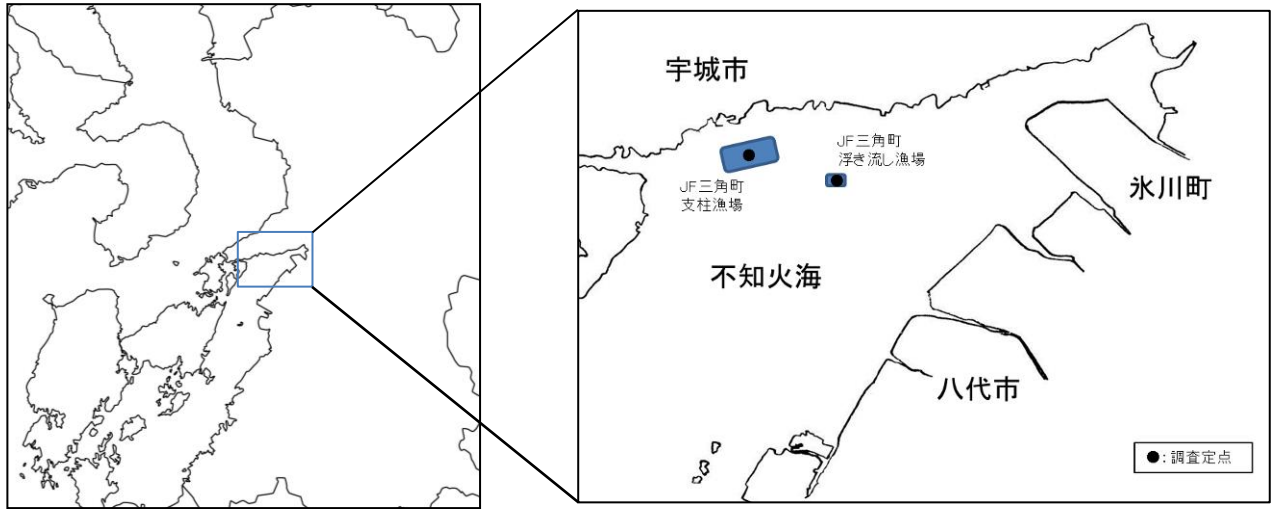


図1 養殖状況調査定点図

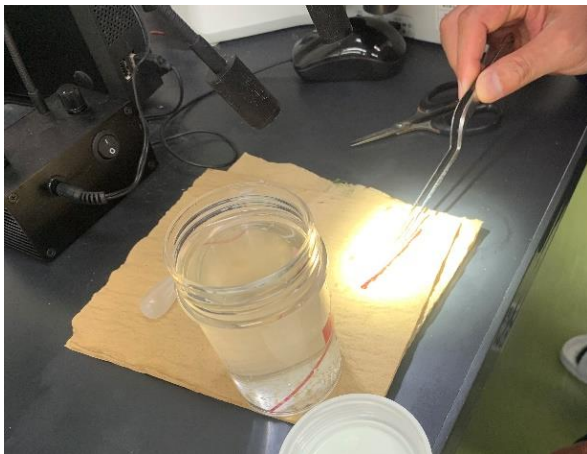


写真1 芽付き状況（採苗網）の確認



写真2 養殖状況の確認

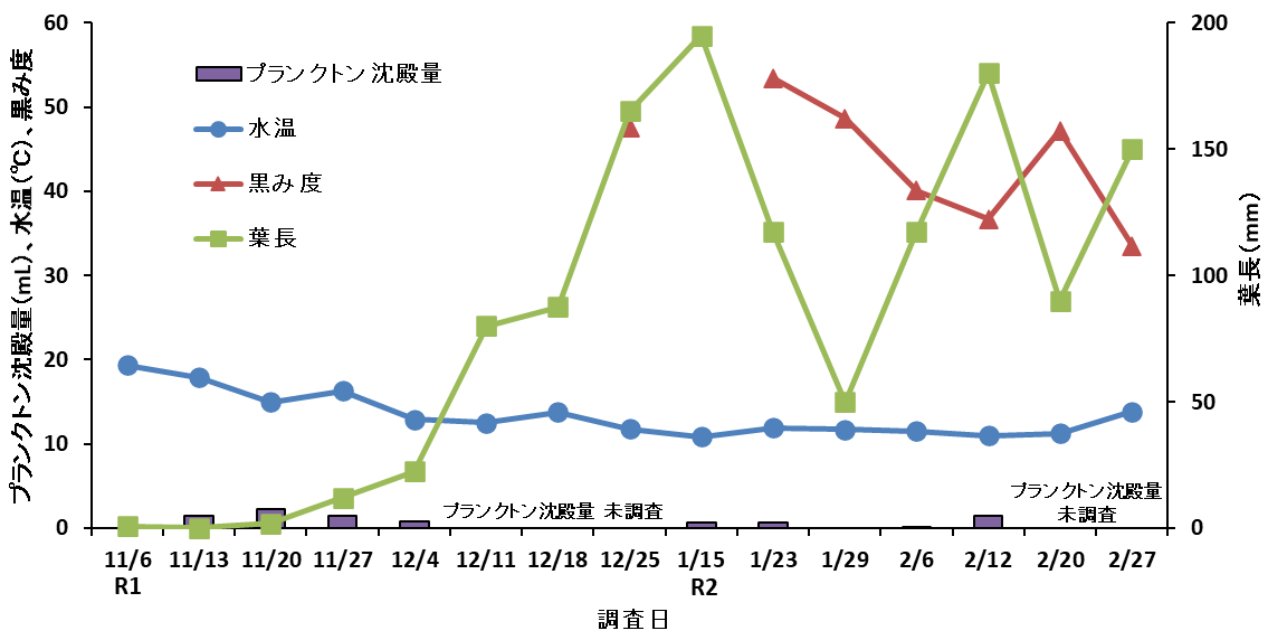


図2 養殖状況調査の結果（とりまとめ）